

2023年公認会計士試験合格者向け特別号

CONTENTS

- 一般財団法人 会計教育研修機構 (JFAEL) 情報 ————— 2
- JFAEL 組織 ————— 3
- 《実務補習特集》 ————— 4

試験合格者 / 実務補習生の皆さんへ

鶴田 光夫 日本公認会計士協会 副会長

実務補習所に入所される皆さんへ

日下部 恵美 日本公認会計士協会 常務理事

実務補習所に入所される皆さんへ

安井 康二 日本公認会計士協会 常務理事

東京実務補習所に入所される皆さんへ

須山 誠一郎 東京実務補習所 運営委員会委員長

東海実務補習所に入所される皆さんへ

後藤 泰彦 東海実務補習所 運営委員会委員長

近畿実務補習所に入所される皆さんへ

安田 智則 近畿実務補習所 運営委員会委員長

九州実務補習所に入所される皆さんへ

関根 康一 九州実務補習所 運営委員会委員長

- JFAEL 会計教育研修機構 会員制度および入会のご案内 — 8

一般財団法人 会計教育研修機構 (JFAEL) 情報

JFAELについて

当法人は、日本公認会計士協会が中心となり、経済界、学界、関係各界の協力を得て、2009年7月に設立された会計に係る教育財団です。

2018年3月に定款改正を行い、広く会計、監査及び税務に関心を有する者のニーズを踏まえた教育研修プログラムを提供し、専門知識や専門的技能の向上を実現し、我が国の会計人材の育成、会計リテラシーの向上に貢献することを目的としています。事業としては、会計実務に携わる者や取締役、監査役等の役員のための教育研修を行う「役員・会計実務家研修」と、公認会計士試験合格者のための法定研修を行う「実務補習」、公認会計士のための法定研修を行う「継続的専門能力開発制度」という3つの事業を行っています。

公認会計士事業については、日本公認会計士協会との連携をさらに強化し、幅広い専門知識に加えて、論理的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力等を身に付けたプロフェッショナルの育成に取り組めます。

【目的】

会計、監査及び税務に関心を有する者の専門知識、専門的技能の向上を実現し、我が国の会計人材の育成、会計リテラシーの向上に貢献

【法定研修】

実務補習

公認会計士資格取得前の研修
※我が国唯一の実務補習機関
(2009年11月に金融庁長官から
認定を得て運営)

【対 象】

公認会計士試験合格者

【一般研修】

役員・会計実務家研修

(会計、監査※、税務、経営管理)
※公認会計士による監査、
監査役監査、内部監査

【対 象】

企業の役員・会計実務家、
職業的専門家

【法定研修】

継続的専門能力開発制度

公認会計士資格維持の研修
※日本公認会計士協会と共催
(運営面を担当)

【対 象】

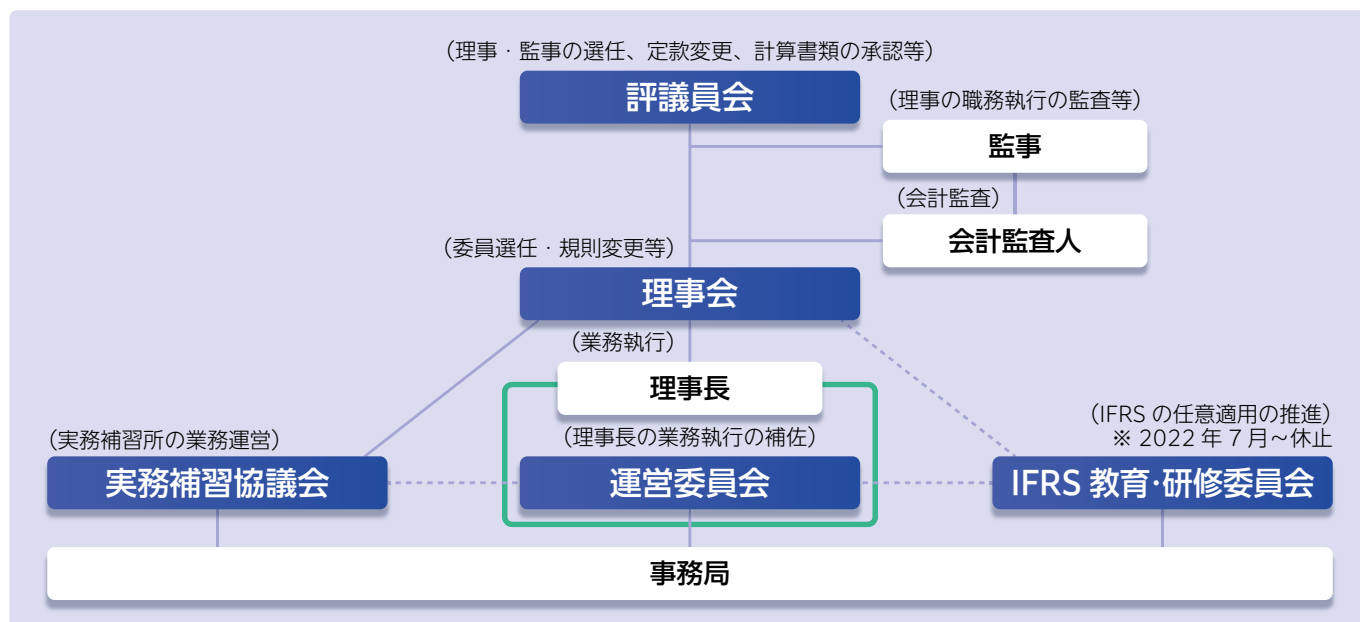
公認会計士

事 業

	実務補習	役員・会計実務家研修	継続的専門能力開発制度 (CPD)
開催目的	公認会計士試験合格者の資質向上	会計、監査、税務、経営管理の知識向上	公認会計士としての資質の維持向上
開催場所	東京(含む8支所)、東海、 近畿、九州	東京、オンライン配信	全国の約30カ所の会場 オンライン配信

JFAEL組織

組織



評議員・理事・監事

(2023年11月1日現在)

評議員会

議長	森 公高	日本公認会計士協会 相談役
評議員	大塚 宗春	早稲田大学 名誉教授
	山道 裕己	株式会社日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループCEO
	島崎 憲明	IFRS財団アジア・オセアニアオフィス シニアアドバイザー
	徳賀 芳弘	京都先端科学大学 教授、京都大学 名誉教授
	坂東眞理子	学校法人昭和女子大学 総長

理事会

理事長	手塚 正彦	一般財団法人会計教育研修機構
専務理事	福岡 広信	一般財団法人会計教育研修機構
理事	浅川 昭久	東陽監査法人 理事長
	石井 雅也	太陽有限責任監査法人 代表社員
	井野 貴章	PwCあらた有限責任監査法人 代表執行役
	井上 隆	一般社団法人日本経済団体連合会 専務理事
	岩間 芳仁	公益財団法人財務会計基準機構 代表理事常務
	大久保孝一	有限責任監査法人トーマツ 包括代表
	鍵 圭一郎	PwC京都監査法人 マネージングパートナー
	片倉 正美	EY新日本有限責任監査法人 理事長
	小池 広靖	公益社団法人日本証券アナリスト協会 会長
	後藤紳太郎	日本公認会計士協会 副会長、近畿会会長
	古藤 智弘	三優監査法人 理事長パートナー
	佐々木啓吾	住友化学株式会社 常務執行役員
	佐藤 久史	日本公認会計士協会 専務理事
	清水 孝	会計大学院協会 理事長
	高田 篤	仰星監査法人 理事長
	辻 松雄	一般社団法人全国銀行協会 副会長兼専務理事
	土屋 一喜	一般社団法人日本内部監査協会 専務理事
	鶴田 光夫	日本公認会計士協会 副会長
	藤沼 亜起	一般社団法人日本公認不正検査士協会 前理事長
	松野 正人	公益社団法人日本監査役協会 会長

茂木 哲也	日本公認会計士協会 会長
柳澤 義一	新創監査法人 統括代表社員
山田 裕行	有限責任あずさ監査法人 理事長

監事

堀江 正之	日本大学商学部 教授
山浦 久司	明治大学 名誉教授

運営委員会

委員長	佐藤 久史	日本公認会計士協会 専務理事
委員	小畑 良晴	一般社団法人日本経済団体連合会 経済基盤本部長
	菊池 教之	株式会社東京証券取引所 上場部長
	杉本 徳栄	関西学院大学大学院 教授
	鶴田 光夫	日本公認会計士協会 副会長
	福岡 広信	弊法人専務理事

実務補習協議会

手塚 正彦	弊法人理事長
茂木 哲也	日本公認会計士協会 会長
日下部恵美	実務補習責任者
安井 康二	日本公認会計士協会 常務理事
鶴田 光夫	東京実務補習所 所長
稲垣 靖	東海実務補習所 所長
高田 篤	近畿実務補習所 所長
宮本 義三	九州実務補習所 所長
須山誠一郎	東京実務補習所運営委員会 委員長
後藤 泰彦	東海実務補習所運営委員会 委員長
安田 智則	近畿実務補習所運営委員会 委員長
関根 康一	九州実務補習所運営委員会 委員長
福岡 広信	弊法人専務理事

試験合格者/実務補習生の 皆さんへ

日本公認会計士協会 副会長(実務補習・修了考査担当)
一般財団法人会計教育研修機構 理事
東京実務補習所 所長

鶴田 光夫



公認会計士試験の合格、そして、各実務補習所の入所、誠におめでとうございます。厳しい受験勉強を合格という形で無事に終え、皆さんは今、新たな世界に向かって期待に胸を膨らませていることと思います。

先日、企業経営者とスポーツ選手との対談を目にする機会があり、その中で、コツコツとした毎日の努力がワクワクの未来をつくる、とありました。夢や目標を叶えるためには毎日の努力を積み重ねる、少しずつ努力していくことでしか成長はできない。言うは易し行ふは難しですが、皆さんも心の片隅にでも覚えていてもらえればと思います。私自身も、ワクワクする業界のためにできることをコツコツとやっていきたいと考えています。

さて、試験合格者/実務補習生の皆さんに、2点のお願いをしたいと思います。

まず1点目は、公認会計士になるまで、すなわち実務補習を修了するまでに、実務経験や実務補習を通じて、公認会計士となるための「知識」を積極的に維持・向上させていって欲しいということです。

公認会計士試験に合格した皆さんには、公認会計士になるために必要な一定の「知識」が備わっていることは証明されましたが、これで公認会計士としての「知識」が十分ということでは決してありません。まずは、所属する組織において主体的かつ積極的に実務経験を積まれた上で、さらに実務補習を最大限活用することで、自らの持つ「知識」の範囲を広げるとともに深めていってください。自ら学び続ける気持ちを持って、ご自身の能力開発をしていく姿勢がとても大切です。なお、変化の激しい時代においては、この姿勢は、公認会計士になった後も、当然に継続していく必要があると思います。

それから2点目は、実務補習を通じて、各実務補習

所の同期の仲間とともに、公認会計士としての職業倫理、プロフェッショナルとしての「意識」や「覚悟」について考え学んで欲しいということです。

プロフェッショナルの定義は様々ですが、波頭亮「プロフェッショナル原論」には「「プロフェッショナル」とは、高度な知識と技術によってクライアントの依頼を適えるインディペンデントな職業だ。業態はさまざまであっても、求められるのはたゆまぬ研鑽によって培われる技量であり、最高の結果を追求するこだわりである。」とあります。また、「正当なプロフェッショナルであるためには、世のため人のため、即ち公益に寄与することを唯一の動機として働かなければならないのである。」という記載もあり、「ノブレス・オブリージュ」という言葉に通じるものがあると思います。

実務補習所の講義やゼミナール・ディスカッションなどを通じて、ここ実務補習所を、単に「知識」を学ぶ場ではなく、公認会計士としての職業倫理、プロフェッショナルとしての「意識」や「覚悟」について考え学び、それを発揮できる場として活用してください。

皆さんは、これから我々の業界の一員として、責任ある意識と行動が求められることになります。是非、この実務補習所という場で、同期の仲間と共に、「知識」だけでなく、公認会計士の職業倫理、プロフェッショナルとしての「意識」や「覚悟」についても考え学び、一人前の公認会計士になっていただきたいと思います。変化の激しい時代において、実務経験や実務補習を通して、会計職業専門家としての基礎(専門知識、価値観・倫理・姿勢、スキル)を身に付け、変化即応能力・学び続ける姿勢(自身に必要な知力や能力を見極め、研鑽を続ける資質・能力)をもって、公認会計士として社会に貢献されていくことを心から願っています。

実務補習所に 入所される皆さんへ

日本公認会計士協会 常務理事(後進育成担当)
一般財団法人会計教育研修機構 実務補習責任者

日下部 恵美



公認会計士試験、合格おめでとうございます。

令和5年度公認会計士試験では願書提出者が2万人を超えるなか、会計職業専門家としての扉を自らの力で拓いた皆さんに敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

今、皆さんは実務補習所で何を学びたいと考えていますか。きっと、高い志と、熱い思いで多くのことを吸収しようと思っていることと思います。

実務補習においては、皆さんを含む全ての実務補習関係者が共有すべきミッション(存在意義)、ビジョン(目指すべき姿)、行動指針(共有すべき行動軸)があります。

実務補習のミッション(存在意義)は、皆さんが「会計職業専門家としてふさわしい品位と幅広い識見を備え、専門的知識を実務上で応用できる能力を有する公認会計士」としてキャリアを歩み、グローバル時代の社会に貢献していくために必要な基礎を身につけるための補習教育を提供していくことです。

実務補習の修了までに身につける必要な基礎は、

以下のとおりです。

1. 社会に貢献する会計職業専門家としての使命感、並びに、価値観、倫理及び姿勢
2. 会計職業専門家に必要な専門的知識、実務能力、応用力とその学び方
3. 会計・監査・税務・ICT/デジタルを一体不可分のものとして捉える視点
4. 会計職業専門家に必要なコミュニケーション能力
5. 公認会計士が活躍し社会に貢献する分野の理解
6. 会計職業専門家に必要なネットワーク力(人的ネットワークを構築し活用する能力)

皆さんがこうなりたいと考える公認会計士の土台を築くために、実務補習を実りある場としてください。また、実務補習所では同期の仲間、そして、皆さんの実務補習を熱くサポートする先輩会計士との出会いがあります。所属組織の枠を越えたこの出会いは、皆さんにとって、かけがえのない財産となることでしょう。

最後に、皆さんお一人おひとりが志をもって、公認会計士として社会に貢献されることを心から願っています。

実務補習所に 入所される皆さんへ

日本公認会計士協会 常務理事(実務補習・修了考査担当)

安井 康二



皆さん、公認会計士試験合格、おめでとうございます。多くの新しい仲間をお迎えすることができ、大変うれしく思っております。皆さんの試験勉強期間の多くがコロナウイルス感染拡大下であったと思います。不安な環境のなか、自らを鼓舞し合格に向けて勉学に励まれることには、大変なご苦労があったことでしょう。皆さんの努力が報われたことについて、敬意を表しますとともに、改めて心よりお喜び申し上げます。

昨年、日本公認会計士協会は新ブランドとして、新しいタグラインを設定しています。

信頼の力を未来へ

Building trust, empowering our future

このタグラインの中核概念は、「私たち公認会計士は、高い倫理観と専門的知見をもとに説明責任を究め、世界の人々と共に社会に信頼を作り上げていくことで、安心で活力に満ちた豊かな社会の創造に貢献する

プロフェッショナルです。」と定義されています。

皆さんは、これから様々な場で公認会計士試験合格者として実務経験を経ていくとともに、実務補習をされていくことになります。公認会計士は会計・監査の専門家であり、世間からはプロフェッショナルの一つとして認識されています。したがって、「高い倫理観と専門的知見」をはぐくむために、常に自己研鑽を続けていく必要があります。そのために用意されているのが実務補習所における学習の機会であり、そこはプロフェッショナルたちのネットワーキングの場でもあります。仕事における実務だけでも大変ですが、公認会計士試験合格はスタート地点に過ぎません。実務補習を受け身で受講していくだけでなく、主体的に取り組むことを期待します。そして、皆さんがこれから実感していくであろう、公認会計士が実際に生み出している「信頼の力」を、皆さんとともに未来に運んでいきたいと願っています。

東京実務補習所に 入所される皆さんへ

東京実務補習所 運営委員会委員長

須山 誠一郎



公認会計士試験の合格、誠におめでとうございます。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたものの、それまで試験勉強の多くの時間を、感染拡大という困難な環境下で過ごさざるを得ないなど、様々な制約があったことと思います。そのような中で見事に目標を達成した皆さんの努力に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

これまで公認会計士試験の合格を一つの目標（ゴール）として、日々、努力されてきたと思いますが、今回の合格で、目標達成と同時に会計職業専門家としてのスタートラインに立つことになります。これから皆さんが受講される実務補習においては、皆さんが「会計職業専門家としてふさわしい品位と幅広い見識を備え、専門的知識を実務上で応用できる能力を有する公認会計士」としてキャリアを歩み、環境変化の激しい時代の経済社会に貢献していくため、数多くの様々なカリキュラムを提供しますので、楽しみに待っています。

東京実務補習所では各学年1,000人規模の実務補習生が在籍し、運営委員も100名が大手監査法人、中

小監査法人、個人会計士等から満遍なく選出されているため、ゼミナール、ディスカッション、宿泊研修などを通じて、補習生同士だけでなく、様々なバックグラウンドをもった先輩方ともコミュニケーションをとることが出来ます。また、実務補習生の多様なニーズに応えるべく、次の3つの取り組みを実施しています。

1. 今後の公認会計士に求められるコミュニケーション能力向上のための、ゼミナール及びディスカッションの単位数の引き上げ
2. 会計大学院協会や日本不正検査士協会との連携講座の提供及び、これに伴う教材の見直し
3. オンライン講義の拡充による受講機会拡大の整備

さらに、各監査法人とも年3回の研修担当者との打合せの機会を通じて連携し、各人の成績状況等を共有し、実務補習生の実務補習修了のサポートを行っています。

これから3年間、多くの方々が皆さんの成長を全力で支援いたします。

どうぞ宜しくお願いいたします。

東海実務補習所に 入所される皆さんへ

東海実務補習所 運営委員会委員長

後藤 泰彦



公認会計士試験合格、おめでとうございます。試験勉強中は、新型コロナウイルスの感染が断続的に拡大するという困難な環境であり、様々な制限があったことと推察しますが、見事に目標を達成した皆さんの努力に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

東海実務補習所は、愛知県を中心に東海圏の皆さんが所属する補習所です。70名程度の補習生の皆さんは5つの班に分かれ、各班を、6-7名の実務補習委員が担当しています。この班制度は、下記のような効果があると考えています。

- ・ 補習生の皆さんが職場や出身学校を越えて交流することができる
- ・ 実務補習委員に、カリキュラムだけでなく、実務や将来キャリアについても相談できる

過去には、補習所を修了しても、集まったり、相談したりする関係が続いている班もあります。ぜひ、新しい

「出会いの場」として補習所を活用して頂きたいと考えます。

実務補習所においては、講義、ディスカッション、ゼミナールなど多くのカリキュラムが提供されます。これらを受講することは、特に働きながらの場合、負担かも知れませんが、しかし、「公認会計士」という専門家として働く以上、学びは一生、続いていきます。補習所では、知識はもちろん、考え方の整理、相手への伝え方などのアウトプット、また、先輩方の経験など、多くのことを学ぶことができます。専門家として活躍していくベースを培うとともに、「学びを習慣づける場」としても補習所を活用して頂きたいと考えます。

実務補習委員はもちろん、運営スタッフ、また、eラーニング講師や教材作成者まで、多くの方が、皆さん方補習生の成長をサポートしていきます。これから、宜しくお願い致します。

近畿実務補習所に 入所される皆さんへ

近畿実務補習所 運営委員会委員長

安田 智則



公認会計士試験合格、誠におめでとうございます。コロナ感染症の位置づけが5類感染症に引き下げられたものの、感染状況が中々収束しない中での試験勉強は、体調管理や精神的な不安等もあったと思います。それらを乗り越え、日々の努力の結果、新たなステージに立たれた今、未来への期待と意気込みで胸を膨らませていることでしょう。皆さんを歴史ある近畿実務補習所の69期生としてお迎えできることを本当に嬉しく思います。

補習所では、実務に即した知識と心構えを習得していただくためのカリキュラムを提供しています。コロナの影響により講義の在り方も見直されましたが、eラーニング講義やオンラインディスカッション等を利用し、補習所での学びが充実したものになるよう引き続き努めて参ります。皆さんには、どのような状況下でも必ず志は達成されると信じて、補習所での学習に励んでもらいたいと思います。

近畿実務補習所の運営委員長として、皆さんに補習期間を通じて以下のことについて心がけていただきたいと

思っています。

1つ目はプロフェッショナルとしての知識の習得です。皆さんは公認会計士試験に合格はしたものの、プロフェッショナルとして習得すべき知識はまだあります。補習期間でこれらの知識を習得していくことはもちろん、補習所修了後も継続的な研鑽を通じて正確な知識を習得し適切な判断を下せるようになってください。

2つ目は高度な倫理観です。公認会計士として資本市場の信頼を守る番人として、適切な判断をするためにも高度な倫理観が必要です。

3つ目は仲間を大切にすることです。同期や講師の先生方と積極的に意見を交わし、様々な経験を共有してください。また、仲間と補習期間を共にすることで、楽しい補習期間を過ごせると思います。

最後に、3年間で補習所を修了できるよう頑張って、なるべく早く公認会計士になってもらいたいと思います。

補習所での学びが皆さんにとって有意義なものになるように、サポートして参りますので、よろしくお願いします。

九州実務補習所に 入所される皆さんへ

九州実務補習所 運営委員会委員長

関根 康一



皆さん、公認会計士試験合格及び実務補習所入所おめでとうございます。

最近では、DX、脱炭素、ダイバーシティ、VUCAといった用語を目にしない日はないほど、私たちビジネスパーソンにとっても、目まぐるしいグローバルな環境変化への対応力を試される時代になってきています。ビジネスや働き方の変化に伴う新たな知識やスキルを習得する「リスキリング(Reskillling)」はこれまで以上に重要なものとなることでしょう。

公認会計士業界においても、この20年間だけでも、会計ビッグバン、J-SOX制度、法定監査の拡大、国際会計基準、監査品質改革、監査のデジタル化等、常に新たな制度の導入や監査手法への対応を求められてきた時代でした。直近ではサステナビリティ情報開示などの重点テーマもあり、公認会計士に期待される業務領域は今後も拡大し、また変化し続けることが予想されます。

これから先の公認会計士業界の中心となって活躍が期待される皆さんは、公認会計士のコア業務である監査及

び会計関連の知識の基礎固めをしながらも、常に変化するビジネス環境に対応できる知識、スキル、マインドを身に付け、変化する期待や役割に対応していかなければなりません。

九州実務補習所の運営もこのような環境変化に対応できる公認会計士を育成すべく、単なる監査及び会計関連の知識習得だけの場になることのないよう変化していきたいと考えています。ライブ講義のうち、ゼミナールやディスカッションにおいては単なる意見発表会の場とならないように、問題発見・解決力、論理的思考力、ファシリテーションスキル、コミュニケーションスキルなどより実践的なスキル習得を意識した指導も行っていくと考えています。宿泊研修(ビジネスゲーム、連結演習)では補習生同士の交流の場として楽しい思い出となるようしっかりと準備したいと思います。皆さんの実務補習所での学びが有意義なものとなるようしっかりサポートしていきますので、3年間よろしくお願いします。

JFAEL 会計教育研修機構

会員制度および入会のご案内

JFAELは、2009年の設立以来、実務補習所の運営を支えるとともに、会計に関して広く一般に向けた研修プログラムの開発に取り組んでいます。

実務補習生の方にはとくにリーズナブルにご利用いただける会員制度になっていますので、ぜひご活用ください。

会計力を強化してさらなる高みへ —3つのメリット—

1 会計の生涯学習を可能に！

公認会計士・実務補習生に加え、すべてのビジネスパーソンが対象です。どなたでもご受講いただけます。

大手監査法人をはじめ、独立して個人開業している会計士の方にも多く入会いただいています。

2 企業との対話に役立つ

会計基準やIFRSの動向など会計実務関連の最新知識や、企業との対話に役立つ様々なジャンルの講座を多数ご用意しています。MBAや大学院に通う時間がなくても、著名な経営者や研究者・専門家によるハイクオリティなセミナーを手軽に受講できます。

3 実務補習+αの学習ができる

実務補習のカリキュラムに含まれていない非財務情報(サステナブル情報開示等)を学習できます。その他、監督官庁・証券取引所・財務会計基準機構など、関連する公的・準公的機関から財務情報、非財務情報の最新情報が入手できます。

土日や深夜を有効活用できる、多彩な受講形態をご用意しています

◎集合研修・ライブ配信・オンデマンドを選択可能

リアルタイムでの集合研修・ライブ配信もしくはオンデマンド講義での受講を選択できます。空き時間で効率的にスキルアップできます。

◎公認会計士・実務補習生向けのリーズナブルな会員制度

入会金…法人会員／3万円 個人会員／1万円 **実務補習生／免除**

(日本公認会計士協会など関連団体所属の場合は免除)

年会費…法人会員／10万円 個人会員／3万円 **実務補習生／1万円**

受講料…会員／無料 非会員／1講座あたり15,000円

実務補習の単位としても認定されます

(年間3単位まで。一部講座を除く)

※CPD,FP継続教育単位への認定制度もあります。

【お問い合わせ】

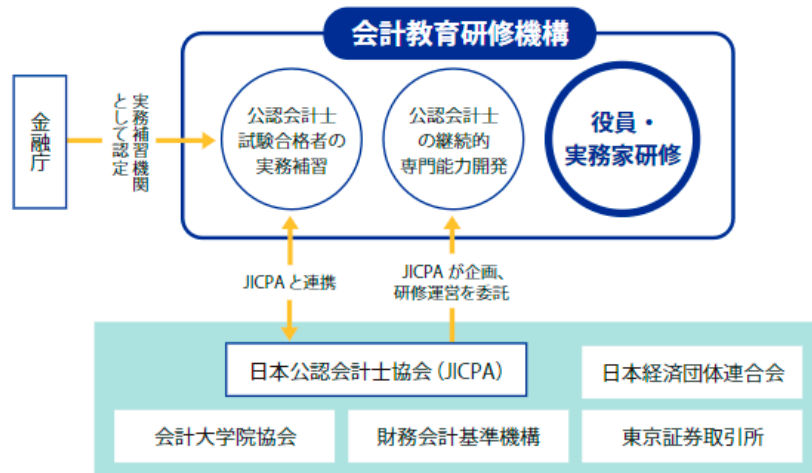
役員・会計実務家研修グループ ☎ 03-3510-7863
✉ seminar@jfael.or.jp

会計教育研修機構



<https://jfael.or.jp/practical>

会計教育研修機構の役割



当法人の評議員、または理事として株式会社日本取引所グループ、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人日本監査役協会、公益社団法人日本証券アナリスト協会、一般社団法人全国銀行協会、一般社団法人日本公認不正検査士協会、一般社団法人日本内部監査協会、会計大学院協会、公益財団法人財務会計基準機構、監査法人等の方々にご就任いただいております。

充実した教育プログラム

会計教育研修機構では、受講者の学習レベルに合わせたセミナーを提供しています。

アカウンティング講座 JGAAP編

- 実務初級
 - ・ アカウンティング基礎講座
- 実務中級
 - ・ アカウンティング実践講座
 - ・ アカウンティング実践アドバンスコース

アカウンティング講座 IFRS編

- 実務初級
 - ・ IFRS入門講座
- 実務中級
 - ・ 『IFRS会計基準』基礎講座
 - ・ IFRSの考え方

役員向け講座・SDGs講座

- 独立社外役員・執行役員向け講座
 - ・ 社外役員の視点から考える女性活躍推進
 - ・ 指名委員会の役割
～後継者計画・指名のあり方～
 - ・ 独立社外役員としての職業倫理
- サステナビリティ関連講座(予定)

お申込は簡単3ステップ

STEP1

右のQRコードから
セミナー一覧にアクセス

STEP2

セミナー一覧ページから
受講したいセミナーに申込

STEP3

必要事項を入力して研修管理システムに
アカウントを登録する

 その他にも多彩な講座をご用意
しています。
詳細はこちらから。



お申込完了



～ 会計教育財団として、我が国の会計人材の育成・会計リテラシーの向上を目指す ～

JFAELニュースレター

特別号 2023年11月 発行

発行人 手塚 正彦

発行 一般財団法人 会計教育研修機構 (JFAEL)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-7 大手町フィナンシャルシティ サウスタワー 5F

TEL : 03-3510-7860 WEB : <https://www.jfael.or.jp/>

